

## 第七次宮崎県農業・農村振興長期計画(後期計画)における主な成果

---

宮崎県農政水産部  
令和 3 年 8 月

# 目 次

|   |   |     |   |
|---|---|-----|---|
| 1 | 第七次宮崎県農業・農村振興長期計画(後期計画)<br>【平成28年度～令和2年度】 | ・・・ | 1 |
| 2 | 重点プロジェクトにおける主な成果                          | ・・・ | 2 |
|   | ① 国際競争力強化プロジェクト                           |     |   |
|   | ② 契約取引推進プロジェクト                            |     |   |
|   | ③ 生産技術高度化プロジェクト                           |     |   |
|   | ④ 連携サポートシステム強化プロジェクト                      |     |   |
|   | ⑤ 未来を切り拓く人財確保プロジェクト                       |     |   |
|   | ⑥ 宮崎方式人材育成プロジェクト                          |     |   |
|   | ⑦ 中山間地域農業所得向上プロジェクト                       |     |   |
|   | ⑧ 中山間地域の誇り・絆づくりプロジェクト                     |     |   |

# 1 第七次宮崎県農業・農村振興長期計画（後期計画）【平成28年度～令和2年度】

## 基本目標

### 新たな時代の変化に対応したみやざき農業の成長産業化

#### 重点プロジェクト

##### 「販売力」の強化

###### 国際競争力強化プロジェクト

☞ 輸出拡大に取り組む産地づくり、国内外への輸送体制の効率化

###### 契約取引推進プロジェクト

☞ リクエスト生産に向けた産地改革、商品づくりやブランド化

##### 「生産力」の向上

###### 生産技術高度化プロジェクト

☞ 技術革新の加速化と迅速な普及、農地利用の多角化

###### 連携サポートシステム強化プロジェクト

☞ 地域内・産地間連携の強化、生産工程の連携・分業化の推進

##### 「人財」の育成

###### 未来を切り拓く人財確保プロジェクト

☞ 多様な分野や地域からの担い手確保、地域農業マネジメント力強化

###### 宮崎方式人財育成プロジェクト

☞ みやざき農業を牽引するプレイヤーの育成、宮崎方式営農支援体制による人財育成

##### 「中山間地域農業」の振興

###### 中山間地域農業所得向上プロジェクト

☞ 地域特性を生かした農業振興、他産業と連携した所得確保

###### 中山間地域の誇り・絆づくりプロジェクト

☞ 中山間地域でのブランド創出、絆を育む集落共同活動の推進

#### 産地経営体構想

農業の担い手減少が懸念される中、担い手同士が連携しながら、マーケットの要求にしっかりと応えた効率的、効果的な生産を行っていく必要があるため、JAの部会、集落営農組織、農業法人等が組織の垣根を越えて「戦略的に連携」し、一つの経営体、いわゆる「産地経営体」を育成し、足腰の強い産地づくりを進める構想。

## 基本計画

#### 「儲かる農業」の実現

- 本県農業の未来を切り拓く多様な経営体の育成
- 国内外の産地間競争を勝ち抜く生産体制の構築
- 農業構造の転換を加速化させる技術開発と普及指導活動の展開
- 新たなニーズに対応した売れる仕組みづくり
- 農を核としたフードビジネスの振興

#### 環境に優しく気候変動に 負けない農業の展開

- 環境負荷の低減による持続的な生産環境の確保
- 地球温暖化に挑戦するみやざき農業の推進

#### 連携と交流による 農村地域の再生

- 多様な連携と交流で築く活力ある農村地域の創造
- 豊かな地域資源を活用した魅力ある農村地域の創造
- 鳥獣被害に打ち勝つ農業の確立

#### 責任ある安全な食料の 生産・供給体制の確立

- 農業セーフティネットの充実強化
- 安心して農業に取り組むための防疫体制の強化
- 食の安全・安心と消費者の信頼確保の推進

#### 品目別の具体的な展開方向

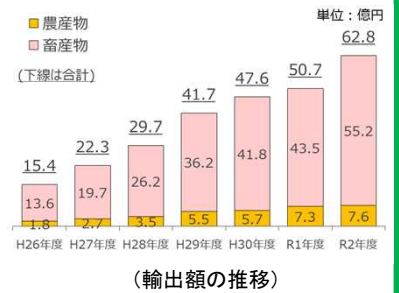
- 米、その他普通作物、野菜、花き、果樹、茶、その亜特用作物
- 肉用牛、酪農、養豚、養鶏、その他家畜、飼料作物

## 2 重点プロジェクトにおける主な成果

### 「販売力」の強化

**国際競争力強化プロジェクト** ⇨ 輸出拡大に取り組む産地づくり、国内外への輸送体制の効率化

- 輸出拠点施設の整備（**食肉加工施設、かんしょ貯蔵施設 計4カ所を整備**）
- 輸出に取り組む産地の拡大（**輸出産地：12産地（H26）→22産地（R2）**）
- 輸出額の増加（**農畜産物輸出額：15億円（H26）→63億円（R2）**）
- 集出荷施設の集約シミュレーション、モーダルシフトの実証、混載輸送等の実施



**契約取引推進プロジェクト** ⇨ リクエスト生産に向けた産地改革、商品づくりやブランド化

- 加工・業務用野菜での耕種版インテグレーションの取組（**取組法人：4法人**）
- 健康に着目した商品開発（**保健機能食品：7商品**）
- 食品加工業者や量販店のニーズに応じた商品開発による契約取引
- 小売業態以外の新たなマーケットとの取引（**契約企業数：7事業者**）



（保健機能食品）

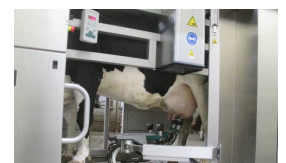
### 「生産力」の向上

**生産技術高度化プロジェクト** ⇨ 技術革新の加速化と迅速な普及、農地利用の多角化

- 施設園芸の生産性向上と周年栽培を実現する養液栽培等の技術開発を開始
- 「みやざきスマート農業推進方針」を策定するとともに、国の事業を活用したスマート農業実証プロジェクトを開始
- 施設園芸における複合環境制御技術や、畜産における発情発見装置や搾乳ロボット等、ICTを活用した生産システムの拡大（**ICTに取り組む生産者数：255人（H26）→631人（R2）**）
- 加工用米の作付面積・生産量の拡大（**面積：1,144ha（H26）→1,642ha（R2）、生産量：5,495t（H26）→8,202t（R2）**）
- 畑地かんがいの整備と先進技術の導入による省力化（**技術導入面積：218.5ha**）



（きゅうりの養液栽培）



（搾乳ロボット）

**連携サポートシステム強化プロジェクト** ⇨ 地域内・産地間連携の強化、生産工程の連携・分業化の推進

- ほ場整備と農地中間管理事業を活用した農地集積（**中間管理機構による農地転貸面積：374ha（H26）→10,807ha（R2）**）
- 加工・業務用野菜産地において出荷予測技術を活用した生産体制が始動
- JA等が主体となった繁殖センター等の地域拠点施設の拡大（**肉用牛農家支援施設数：13施設（H26）→23施設（R2）**）
- 分業による販売型コントラクターの飼料販売の拡大（**コントラクター受託面積：3,130ha（H26）→4,118ha（R元）**）



（農地中間管理事業を活用した農地シャッフル）



（JA主体のキャトルセンター）

## 「人財」の育成

**未来を切り拓く人財確保プロジェクト** ⇨ 多様な分野や地域からの担い手確保、地域農業マネジメント力強化

- 農業法人等への派遣型就農研修の実施 (**お試し就農参加者数(延べ) : 256人**)
- 各JA等による就農トレーニング施設の設置 (**就農トレーニング施設数 : 13カ所**)
- 農業大学の総合研修拠点化 (**チャレンジファームでの大規模経営実証等**)
- 総合情報サービス企業と連携した農業人材の確保 (**(株)マイナビとの連携協定締結**)
- 青果卸業者や建設業者など他産業の参入が増加 (**企業の農業参入数 : 123法人(H26) → 154法人(R2)**)
- 短期就労マッチング体制の構築 (**就労希望登録者数 : 208人、就労人数(延べ) : 738人**)
- 農業法人数の増加 (**農業法人数 : 745法人(H26) → 874法人(R2)**)
- 新規就農者の増加 (**新規就農者数 : 260人(H26) → 408人(R2)**)



(株)マイナビとの連携協定

## 宮崎方式人財育成プロジェクト

⇨ みやざき農業を牽引するプレイヤーの育成、宮崎方式営農支援体制による人財育成

- 産地分析・産地ビジョンの進展 (**産地分析実施産地数(延べ) : 77産地**)
- 経営発展ステージに合わせた研修体系の構築  
(**みやざき次世代農業リーダー養成塾参加者数(延べ) : 66名**)  
(**みやざき6次産業化チャレンジ塾参加者数(延べ) : 82名**)
- 高度で一元化された指導体制の確立  
(**宮崎方式営農支援体制の確立 (県とJA合同研修参加人数(延べ) : 3,298人)**)



(みやざき次世代農業リーダー養成塾)

## 「中山間地域農業」の振興

### 中山間地域農業所得向上プロジェクト

⇨ 地域特性を生かした農業振興、他産業と連携した所得確保

- 中山間地域の特性を生かした収益性の高い園芸作物の生産 (**ミニトマト、きんかん、ラナンキュラス、リンドウ等**)
- 放牧による遊休地の活用や飼養管理の省力化の進展
- 地域の主要品目を総合的に支える農作業受託の拡大
- 特産品を活用した6次産業化推進による生産・加工・販売の拡大 (**農商工連携・6次産業化の事例数(延べ) : 361件(H26) → 563件(R2)**)
- 農泊を推進する地域協議会の活動支援等による農林漁家民泊の増加 (**農林漁家民泊数(延べ) : 141件(H26) → 185件(R2)**)



(稲収穫の作業受託)

### 中山間地域の誇り・絆づくりプロジェクト

⇨ 中山間地域でのブランド創出、絆を育む集落共同活動の推進

- 世界農業遺産の認定を契機とした地域特産品のブランド化や、県内外や海外への魅力発信による認知度の向上 (**ブランド「五國豊饒」の創設**)
- 多面的機能支払制度の取組拡大や、中山間地域等直接支払制度における集落協定広域化の進展や指定棚田地域の指定 (**多面的機能支払制度取組面積 : 15,754ha(H26) → 22,967ha(R2)**)
- 地域一体となった鳥獣被害対策の実施やジビエ利用の拡大



Takasihogo Shiibayama Made

(ブランド「五國豊饒」)